

# 総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	平成31年度										
事務事業名	資源物分別収集事業										
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	予算事業名	資源物分別収集事業費		
			04	02	02	2001	経常経費	根拠法令	廃棄物処理法 容器包装リサイクル法		
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業			
	2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理)										
	①循環型社会の形成						担当課係等	生活環境課			
	2資源物の分別収集の推進							生活環境係			
事業期間	継続 (平成 7年度～平成32年度)										
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物分別排出を行い、限りある資源の有効活用及び減量化を図る</li> <li>「生産→消費→廃棄」といった一方通行の社会から、持続可能な循環型社会への転換を図る</li> </ul>						平成7年の容器包装リサイクル法の制定に先駆け開始。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に資源物集積所設置の調整</li> <li>集積所に出された資源物の収集体制の構築</li> <li>リサイクルルート確立</li> <li>分別説明会等の開催</li> <li>24hリサイクルステーションの管理</li> <li>資源物の売却益を、各自治会に還元する</li> </ul>						市民, 自治会等					
						【事業をとりまく環境の変化】					
						<ul style="list-style-type: none"> <li>区画整理実施地区等において、集積所用地を確保できなくなりつつある</li> <li>市民の高齢化等により当番ができない、集積所まで持っていけない等の相談が増えている。</li> </ul>					
【平成31年度 事業内容】			【平成32年度 事業内容】			【平成33年度 事業内容】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に資源物集積所設置の調整</li> <li>集積所に出された資源物の収集体制の構築</li> <li>リサイクルルート確立</li> <li>分別説明会等の開催</li> <li>24hリサイクルステーションの管理</li> <li>資源物の売却益を、各自治会に還元する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に資源物集積所設置の調整</li> <li>集積所に出された資源物の収集体制の構築</li> <li>リサイクルルート確立</li> <li>分別説明会等の開催</li> <li>24hリサイクルステーションの管理</li> <li>資源物の売却益を、各自治会に還元する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に資源物集積所設置の調整</li> <li>集積所に出された資源物の収集体制の構築</li> <li>リサイクルルート確立</li> <li>分別説明会等の開催</li> <li>24hリサイクルステーションの管理</li> <li>資源物の売却益を、各自治会に還元する</li> </ul>					
<b>■事業費</b>											
			H29年度		H30年度						
財源内訳	国庫支出金		0		0						
	県支出金		0		0						
	地方債		0		0						
	その他		9,049		8,312						
	一般財源		40,088		40,501						
歳入計(千円)			49,137		48,813						
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)						
	08 報償費		5,658		4,907						
	11 需用費		1,589		1,592						
	13 委託料		41,335		41,759						
	14 使用料及び賃借料		555		555						
歳出計(千円)(A)			49,137		48,813						
伸び率(%)					-0.65						
備考	総合計画89ページ 予算書110ページ										

# 平成29年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	収集委託契約（収集体制）	件	目標	1.00	1.00	1.00
	資源物の収集体制を確保する		実績	1.00	0.00	0.00
	分別説明会等（出前講座等）	回	目標	10.00	10.00	10.00
	市民に対し、資源物の分別について情報提供を行い、分別ルールの徹底を図る		実績	10.00	0.00	0.00
成果 指標	資源物の収集回数（缶、紙、ビンの延べ収集回数）	回	目標	56.00	56.00	56.00
	品目ごとにそれぞれ収集を行う		実績	56.00	0.00	0.00
	資源化率	%	目標	13.00	13.00	14.00
	資源物収集量/資源物を含むごみ収集量 ※委託、直営、家庭系自己搬入分		実績	11.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	資源物分別収集事業は、ごみ減量化、資源の有効活用等のため、必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	関係法令により地方公共団体が積極的に取り組まなければならないものと位置付けられている。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	分別収集事業も開始から20年以上経過し、一定の水準で事業を継続しており、特に大きな変更を行った点もないため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市条例により、市民には分別排出を行う協力義務があるため。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	大きな成果向上は見られないが、一定水準でごみの減量化が図られている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	一定の水準が保たれ、継続されている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
市内アパートの増加、外国人の増加等、各自治会の資源物集積所に排出できない市民が多くなっている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
24時間リサイクルステーションの設置について実施形態の再検討が必要。			

## ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 資源物の分別収集は、ごみの減量化にもつながることであり、環境推進員の協力も得ながら、分別収集についての市民への周知と理解を深める。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	